

はばたけ 鳥羽人

Vol. 2



市食生活改善推進委員として
市民の健康づくりを支える

藤原喜代さん
(四丁目)

「作る喜びと食べてもらう喜び」 料理は喜びづくりです

平成5年に「鳥羽市食生活改善推進連絡協議会」(以下、食改協)が発足した当時から、推進委員として第一線で活躍されている藤原さん。

その16年間の活動が評価され、6月には、県食改協会長表彰を受賞されました。

推進委員になろうと思ったきっかけは？

高血圧で通院していた夫のために、高血圧予防料理教室に参加したのが始まりです。

活動の内容は？

食生活を見直すことで、健康づくりを進めていこうと月1回、会員同士で勉強会をし

ています。そこで学んだ地元食材を生かした料理や薄味料理などを料理教室を開いて市民のみなさんに紹介していきます。

苦勞に思ったことは？

わたしにとって、食改協の活動は、第二の人生の希望の一步として踏み出したことなんです。だから、苦勞というより、好きな料理を生かして人に喜んでもらえるうれしさの方が大きかったですね。

会長表彰受賞のご感想は？

感無量です。これからも新しい料理に挑戦して、みなさんに伝えていきたいですね。

C lose-up

クローズアップ

あなたも登場してください。
【連絡先】総務課秘書広報係 ☎01114

「はばたけ鳥羽人」では、地域で活躍されているかたを、「フレフレーとばっ子」では、市内のスポーツ少年団で頑張っているこどもたちを紹介します。



目指せ！ 東海大会出場

鳥羽マーチングバンドスポーツ少年団

フレフレーとばっ子

Vol. 2

みなとまつりや市民運動会などで演奏を行い、鳥羽のイベントには欠かせない存在となっている鳥羽マーチングバンドスポーツ少年団は、1971年(昭和46年)に結成されました。

以前は、鳥羽小学校のクラブ活動の一環でしたが、4年前から市内全域の小学3年生から6年生までの児童を対象に募集を行っており、現在、鳥羽・加茂・鏡浦地区の女子児童11人が所属している県内唯一の小学生のみで構成されたマーチングバンドです。

練習は、土曜・日曜日を中心に市民体育館などで行っており、マーチングバンドを通して「仲間で協力し合い、自分で考えて行動できるようなチーム」を目指しています。部員の一人は「練習は大変だけど、楽しいからこれからも続けていきたいです」と、笑顔で話してくれました。

10月に行われる県大会を勝ち抜いて、東海大会に出場することを目標に、日々練習に取り組んでいます。

